

浸水被害発生時の消毒方法について一覧

対象	消毒液	使用方法	特徴	注意事項
屋内外	クワール石けん液	水で希釈して3%溶液にし、じょうろや噴霧器で散布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れが残っていても効果が期待できる。 ・においが強い。 	においが強く、原液は皮膚に対する刺激が強い。
床上	逆性石けん (塩化ベンザルコニウム)	水で希釈して0.1%溶液にし、布に浸して水拭きするか、噴霧器で散布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・手指の消毒にも使用できる。 ・汚れによって消毒効果がなくなるため、汚れを取り除いてから使用する。 	原液（高濃度液）では、まれに手荒れの原因になることがある。
食器	次亜塩素酸ナトリウム	水で希釈し0.02%溶液にし、5分以上浸したあとに水ですすぐ。	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れによって消毒効果がなくなるため、汚れを取り除いてから使用する。 ・金属やゴムなどを腐食させる。 	刺激が強く、手荒れの原因になる。
	熱湯	煮沸状態を保って1分以上浸す。	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックなどの合成樹脂は変形してしまうことがある。 	やけどに注意する。
手指	逆性石けん (塩化ベンザルコニウム)	水で希釈して0.1%溶液にし、洗面器に入れ、消毒液中で手を30秒以上もみ洗いする。	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れや石けんの流し残しによって消毒効果がなくなるため、汚れを取り除いてから使用する。 	原液（高濃度液）では、まれに手荒れの原因になることがある。
	消毒用アルコール (エタノール)	70%以上の濃度のまま使用し、そのまま1分間程度すり込む。	<ul style="list-style-type: none"> ・原液（濃度70%以上）で使用する。 ・汚れによって消毒効果がなくなるため、汚れを取り除いてから使用する。 	過敏症の方は手荒れの原因になることがある。

- ・ 消毒薬は、商品によって濃度が異なります。それぞれの使用上の注意をよく読んでから使用してください。
- ・ 誤飲の恐れがあるため、消毒薬の別容器への小分け保管はしないでください。
- ・ 希釈した消毒液は効果が失われていきますので、速やかに使いきってください。